



胃腸科

下痢や便秘、腹痛や腹部不快感が続いたら専門医に相談を

過敏性腸症候群について



お答え
佐藤胃腸科医院
佐藤理 院長

■プロフィール 広島大
学医学系大学院卒業
後、国立病院等に勤
務、その後、県立広島
病院内視鏡科に10年開
院勤務し、平成19年開
院勤務。佐藤胃腸科医
生会。IBSクラブ会員。
会。MEMO ☎084(926)
0221(西町1-4-1)
http://business4.
plala.or.jp/fukusato/

最近増えている機能的
胃腸症の中で、便の異常
や下腹部に症状が出やす
い「過敏性腸症候群」(I
BS)について、「佐藤胃
腸科医院の佐藤理(おさ
む)院長に聞きました。

Q IBSとは、どんな
病気ですか。
A 腸ががんや腸炎な
どの病気がないにもか
か、気分が不安定な
だ分かっていません。

Q 具体的に、どんな
症状が出ますか。
A 通勤時や通学時
急におなかが痛くなっ
てトイレに駆け込む、会
議中や試験中などに急
におなかが痛くなる、よ
くおなかがゴロゴロ鳴
っている、便が出たのに
すっきりしない感じがし
ない、なごの症状があ
ります。

Q どのようにして診
断するのでしょうか。
A まず、腸の中に
がんや重い腸炎などの
病気がないことを確認
しなければなりません。
詳しい問診(経過)、
専門医の診察、血液や
便の検査、腹部超音波
検査やCT検査、大腸
内視鏡検査などにより
、ほかの病気を排除す
ることが大切です。た
だし、すべての検査が
必要ではありません。

Q 治療法は？
A 自己診断での治療
は危険です。思わぬ重
い腸の病気が隠れてい
る可能性があるからです。
IBSをよく理解して
、医師を訴えてください。
症状を訴えてください。
その訴えをきちんと聞
いて親身になって考え
てくれる医師との出会
いが治療の第一歩で
す。がんなどの重い病
気ではないと判断でき
たら、関係が必要だと思
います。

Q どのような治療
が有効ですか。
A 腸の動きを整え、
消化を良くすることが
大切です。食生活や生
活習慣の改善、薬の
治療、心理療法等が
有効です。薬は、個人
の症状や習慣に応じて
、医師の指導のもと
で処方されます。た
だし、治療には数
月かかることがあります
ので、いずれの治療も
根気よく続けてくださ
い。

Q どのような治療
が有効ですか。
A 腸の動きを整え、
消化を良くすることが
大切です。食生活や生
活習慣の改善、薬の
治療、心理療法等が
有効です。薬は、個人
の症状や習慣に応じて
、医師の指導のもと
で処方されます。た
だし、治療には数
月かかることがあります
ので、いずれの治療も
根気よく続けてくださ
い。